

交通事故死者ゼロに向けた車両データの利活用（インフラ管理） 量産車両データを活用した道路異常検知技術

Hondaは、2023年より量産車両データや検査車両データを用いた実証実験をオハイオ州と推進中

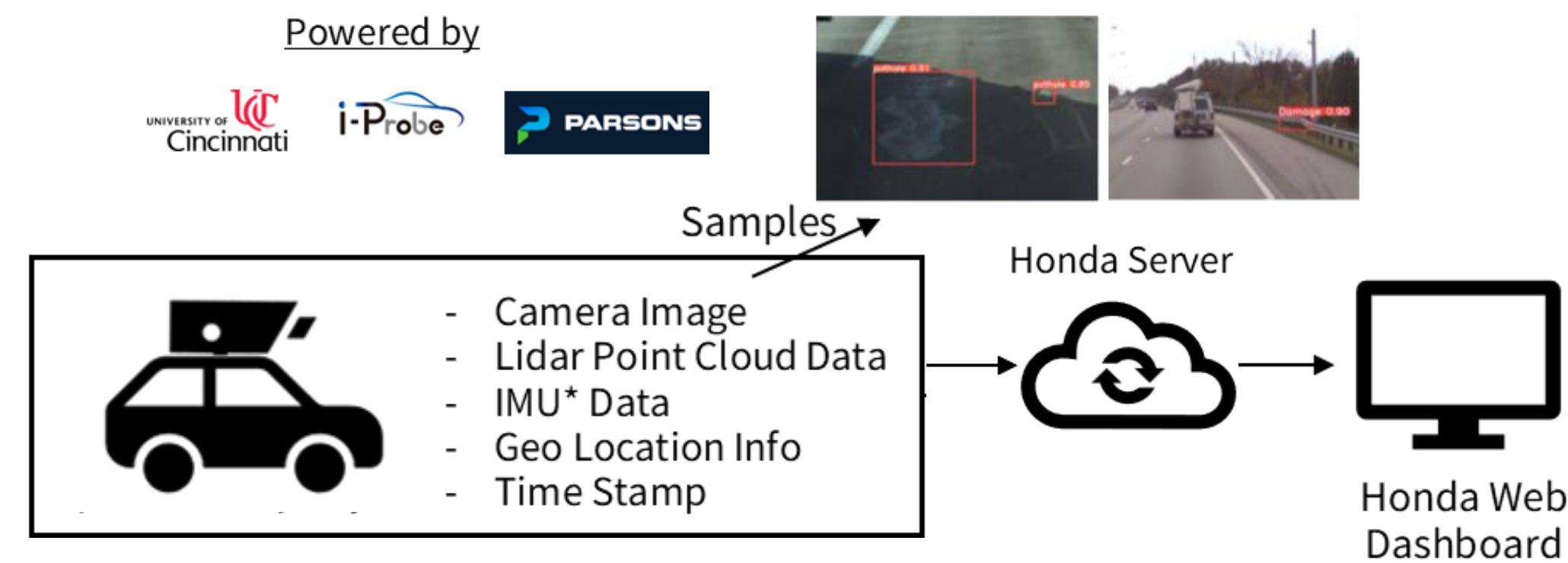


Department of
Transportation

DriveOhio

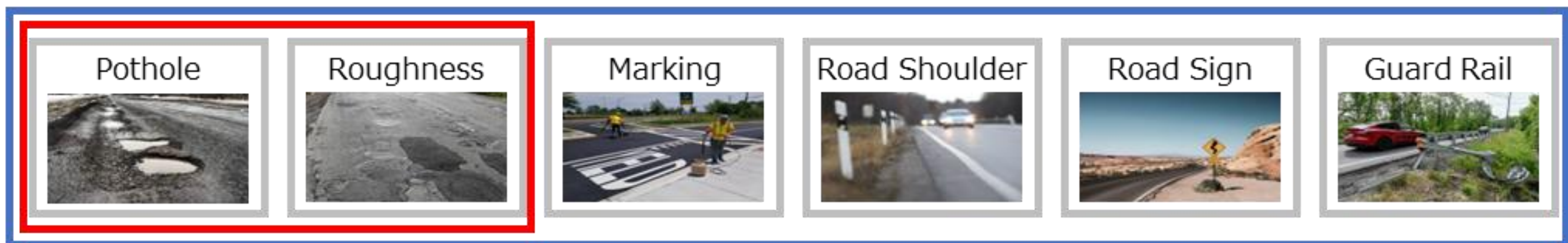
オハイオ州プロジェクト概要

量産車両データを用いて道路管理の効率化を図り、検査車両を活用することでスマートモビリティ社会の実現に向けた応用技術の可能性を探求するプロジェクト



*IMU: Inertial Measurement Unit – a device that detects 3-axis angle and acceleration

監視対象物

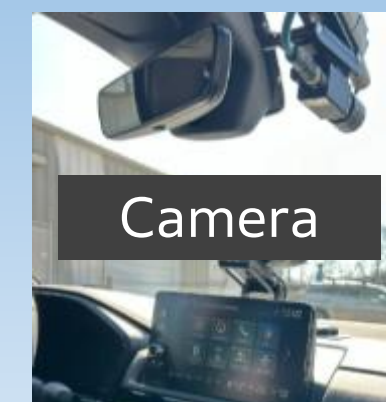


技術内容

プロジェクト用検査車両（展示車両）

機能 部品

2台の高性能カメラと
LiDARを用いて、路面
や白線、道路標識の状
態をモニタリング



Camera

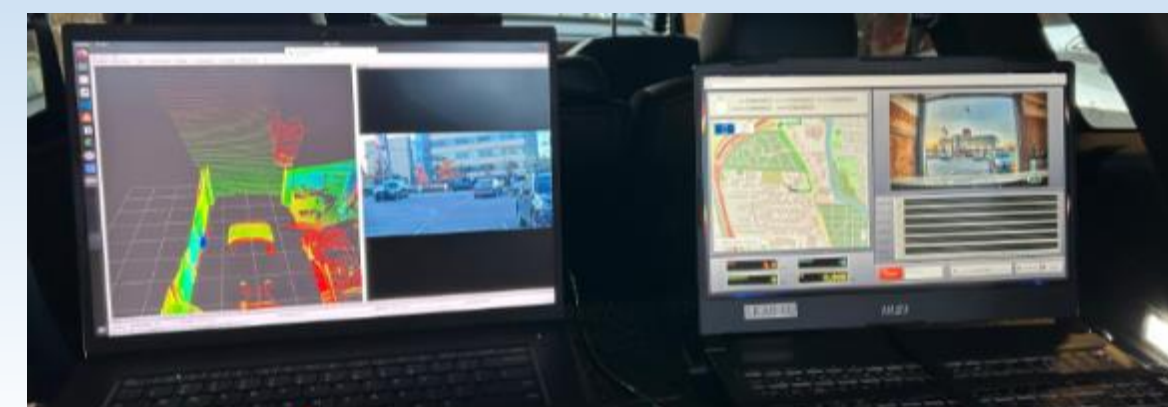


LiDAR

GPS

設定 PC

トランクルームに設置
された2機のPCですべ
ての設定が可能



表示 モニター

車内に設定された複
数のモニターにより、
リアルタイムに検査
内容の確認が可能



道路路面・標識やガードレールなど、安全・安心な道路利用に必要なインフラ整備を効率的に実施

HONDA